

『ジュラシック・パーク』30周年 Makuake プロジェクト特集』
300年の伝統的砂型鑄造で蘇る発見された恐竜テーブルウェアコレクション

1714年創業、加賀藩主・前田利長に技術を認められ御鑄物師（いもじ）七人衆の一人に任命された鑄物師がルーツの株式会社金森合金（代表取締役 23代目 金森和治）は、アタラシものや体験の応援購入サービス「Makuake（マクアケ）」にて、『ジュラシック・パーク』30周年を記念して生まれた商品のプロジェクトを紹介する『『ジュラシック・パーク』30周年 Makuake プロジェクト特集』に参画致します。

◆企画コンセプト

創業1714年から継承する伝統的砂型鑄造の耐久性と美しい金属素材の魅力で、日本の美的感性をいかした『ジュラシック・パーク』のアートデザインの金属コレクションを公開いたします。

まるで発見された恐竜のようなプレート、カトラリーレスト全6商品を、職人が1点ずつ手作りで鑄造します。「恐竜発掘体験」では、砂に埋まった恐竜カトラリーレストが届けられ、お客様ご自身がハンマー等で商品を発掘する体験プランも作成。砂から生まれた恐竜たちが食卓を楽しませ、笑顔が生まれるようなテーブルウェアコレクションを作りたいという願いが込められています。



公開期日：2023年9月7日(木)11時頃～11月13日(月)18時頃

Makuake プロジェクト URL：<https://www.makuake.com/project/kanamori-4/>



◆プロジェクト概要

- ①【300年継承する伝統的砂型鋳造】日本の美的感性と『ジュラシック・パーク』が出会いました！
- ②【6,500万年の世界観を再現】まるで発見された恐竜のようなテーブルウェアコレクション
- ③【割れにくく丈夫なプレートやカトラリーレスト】ロケット部品素材を供給する技術が誇る耐久性



◆江戸時代から引き継がれる循環型ものづくり

金森合金は 1714 年の創業以来、自社内精錬技術による「循環型ものづくり」を継承してきました。フォーナイン（純度 99.99%）が必要とされるロケット部品素材の供給を実現させた精錬技術を強みに、金属廃材を日本産業規格に適合した素材に循環させています。

今回、プレートやカトラリーレストに使われるアルミ合金は、ハイアット セントリック 金沢で廃棄されたアルミ缶を原料として活用します。800℃の高温で溶解、不純物を除去し高純度アルミニウムを生成することで、製品へと循環。時代に応じて、必要なものを必要なだけ、循環型ものづくりを続けています。



ハイアット セントリック 金沢

100 点以上のアート作品や工芸品に囲まれた館内は、伝統とモダンが融合し、まるで美術館のようなホテル。サステイナブルな取組みにおいても一歩先を行くホテルです。金森合金の精錬技術を活用し、廃棄アルミ缶をモダンなテーブルウエアへと循環させる環境保全の取組みを行っています。

URL hyattcentrickanazawa.jp

◆『ジュラシック・パーク』30 周年 Makuake プロジェクト特集』について

特集 URL : <https://www.makuake.com/partner/jurassicworld/>

◆株式会社金森合金

1714 年創業、加賀藩主・前田利長に仕えた鋳物師がルーツの老舗鋳物会社。循環型金属精錬でのものづくりを継承し、ロケット部品素材の供給を実現。2019 年、金属素材そのものが持つ機能性を活かし、生活のシーンを美しく彩るライフスタイルブランド「KAMAHACHI」をスタート。

<問合せ先：株式会社金森合金>

〒920-0348 石川県金沢市松村 6 丁目 100 番地

TEL : 076-267-3003 MAIL : info@kanamori1714.jp

HP : <https://www.kanamori1714.jp> 担当：24 代目 高下裕子（こうげひろこ）



注)本コレクションは、Universal Studios Licensing LLC（ユニバーサル・スタジオ・ライセンシング LLC）との商品化契約に基づき、株式会社 foundation が企画・制作した商品です。